

ZEH事業計画・BELS表示割合 計画及び実績

◆普及実績・目標

		2017年度実績	2018年度実績	2019年度実績
ZEH 受託率	新築住宅	8%	6%	7%
	リフォーム	0%	0%	0%
	合計	8%	6%	7%
Nearly ZEH 受託率	新築住宅	0%	0%	0%
	リフォーム	0%	0%	0%
	合計	0%	0%	0%
ZEHシリーズ 受託率の合計	新築住宅	8%	6%	7%
	リフォーム	0%	0%	0%
	合計	8%	6%	7%
その他の住宅 受託率の合計	新築住宅	72%	77%	73%
	リフォーム	20%	17%	20%
	合計	92%	94%	93%
合計	新築住宅	80%	83%	80%
	リフォーム	20%	17%	20%
	合計	100%	100%	100%
BELS 表示割合				8%

		2020年度実績	2021年度実績	2025年度目標
戸 建 住 宅	ZEHの受託率	20%	18%	50%
	Nearly ZEHの受託率	0%	0%	0%
	ZEH Orientedの受託率	0%	0%	0%
	ZEHシリーズ受託率の合計	20%	18%	50%
	その他の一般住宅	80%	82%	50%
	合計	100%	100%	100%
既 存 改 修	ZEHの受託率	0%	0%	50%
	Nearly ZEHの受託率	0%	0%	0%
	ZEH Orientedの受託率	0%	0%	0%
	ZEHシリーズ受託率の合計	0%	0%	50%
	その他の一般住宅	100%	100%	50%
	合計	100%	100%	100%
ZEH+	ZEH+の受託率	0%	0%	
	Nearly ZEH+の受託率	0%	0%	
BELS		20%	27%	100%

◆ZEHの周知・普及に向けた具体策

国のZEH基準や弊社のZEH基準を公表しZEH化による様々なメリット（光熱費の低減以外に、災害時のエネルギー自立、快適性・健康性の向上、開放的な間取り等）を周知する。具体的にはHPや情報誌への掲載、見学会の開催によりエンドユーザーに対して分かりやすく説明をする。より広く普及を目指すためにコストを抑えたモデルプランを提案すると共に、標準仕様を定め弊社ゼロエネルギー住宅のブランド化を図る。

◆ZEHのコストダウンに向けた具体策

断熱仕様や設備等の一定の仕様を標準化します。標準化された仕様で設計施工を一貫して行うことでコストダウンを図ります。高断熱による外皮性能の向上・高効率設備の導入+太陽光発電等による創エネのバランスと地域の気候特性も踏まえた設計により高性能と低コスト化を図ります。

◆その他の取り組みなど

太陽光発電による創エネだけに頼るのではなくパッシブデザインを取り入れた設計で、より快適で、より心地いい住まいを提案し単なるエネルギー消費量がゼロという住宅とは一線を画する住まいを提案します。